

2020年5月12日
日揮ホールディングス株式会社

2019年度通期業績予想の修正
オンライン説明会における質疑応答（2020年5月12日開催）

※オンライン説明会開催日（2020年5月12日）時点の情報に基づく内容です。

質問	回答
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、進捗に遅れが出ている案件はあるか？	2019年度末時点においては、進捗に大きな影響が出た案件はなかった。しかし、今後の進捗への影響等を考慮し、各案件の予算の見直しを行い、その結果を2019年度通期業績予想の修正に反映した。
2019年度通期業績予想の修正における、粗利改善のプラス要因とマイナス要因の入り繰りを教えて欲しい。	マイナス要因としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって見込まれるコストを約80億円程度計上した。一方、プラス要因としては、長らく交渉を行ってきたチェンジオーダーの妥結、終了案件のコンティンジェンシーの取り崩し、一部案件における採算改善等があった。結果として、プラス要因の金額がマイナス要因を上回り、期初予想より粗利益が改善した。
外国税額の問題は一過性か？	2020年度の業績予想を含め実効税率についても現在精査中であり、5月19日の2019年度通期決算発表の際にご説明させて頂く。